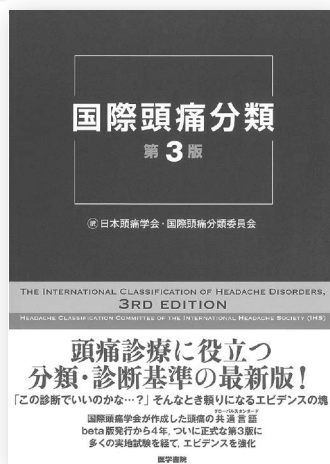




今月の特集関連本①



国際頭痛分類

第3版

日本頭痛学会・国際頭痛分類委員会＝訳

本体 4,800 円＋税／B5 判・280 頁／医学書院／2018

国際頭痛学会が作成した頭痛の分類・診断基準が、ついに正式な第3版に。前版から、多くの実地試験を経て、エビデンスが強化されました。堅い見た目ながら、研究はもちろん、臨床においてもよきパートナーになること請け合い。診断に困ったらぜひ本書を引いてみてください。役立つヒントがたくさんあるはず。神経内科医、脳神経外科医、総合診療医にとっては『慢性頭痛の診療ガイドライン』とともに手元に置いておくべき1冊。



慢性頭痛の診療ガイドライン 2013

日本神経学会・日本頭痛学会＝監修

慢性頭痛の診療ガイドライン作成委員会＝編

本体 3,500 円＋税／B5 判・368 頁／医学書院／2013

日本頭痛学会が2006年に編集したガイドラインの改訂版。頭痛診療のエキスパートが最新のエビデンスに基づき、片頭痛についての臨床的・クエスチョンを中心に詳述。付録として「スマトリプタン在宅自己注射ガイドライン」「バルプロ酸による片頭痛治療ガイドライン」「プロプラノロールによる片頭痛治療ガイドライン」を収載。頭痛をよく診る神経内科医、脳神経外科医のみならず、プライマリ・ケア医も必携。